

おはよう。おこしにおどろきおした。おつたさんか
 お坊ねにおーたね、やさんでぬりしやりおしたのぢやうか、
 あうん^おこ、ニウ月あよりも何のたよりもありおせんが
 何も存上げさるるもできあせず、さんないなかりると
 お嘆くおらうしやりおーたとは、どんなにおせうしやう
 じたりおーたこととほんとうにおせうに申上げあす。
 ターノウで、クダをおのみにありおーたか、わたくし
 あうクダと何十回ものみおーた、さうて、手摺なかりあ
 ちのぢやうか、痛みはとれおーても、ターノウがほんとうに
 よくなりおせん、やう痛みあす、お医者さんの
 おつしやることをよくお守りになりおせしと、毎日の
 再お見をみなければなりおせん、よく、市役所
 あうばーおーて、食物の制限の程のほどをよくお守り
 なさいおすやう申上げあす。ターノウで、いかりあすか、
 ターノウで、いかりあすか、
 先生の胃の病工合のおよろしくおつしやりあす
 申す、おはむ申上げあす。

何れもお案いわけをとりあす。
 僕はおもおんや、おるけする、いづいありしわい
 ます市橋子をおやまいて、おや、お坊ね
 申上げて、庭の石などをおえしては、おはなをしを
 しては、そのときとお待ち申してをりあす。
 先生は、三日に三日、市役所へお久えなかりあす
 との申す、そのこととばかり思ふをとりあす。
 市役所へおやまいて上りたりと思ひあす。わたくしは
 うろうろと甚だ果ておーてやしまの草などあつたり、
 山をなかめおーたりてをりあす。る性の方はもう
 体の力がありおせん、であまりめてをりあす。
 何とかして上あうのひおをみつけたりと念じてをりあす。
 市役所へおやまいてあうばーて、いかりあす。

五月十一

山王生朝子さま

お坊ね